

# コスモ松山石油(株)

(2004年3月31日現在)

所在地	愛媛県松山市大可賀3-580
操業開始年月	1944年2月
面積	693,049m <sup>2</sup>
従業員数	104名
ISO 9001 認証取得	1997.11.14 認証取得
ISO 14001 認証取得	1998.12.28 認証取得



## ■コスモ松山石油について

当社は、多島美を誇る瀬戸内海の西四国地区に位置し、石油製品および石油系溶剤類の生産販売を中心に、タンク賃貸業や近隣企業への電気・蒸気などの供給、その他不動産賃貸業また関連事業としてゴルフ練習場・アワビの陸上養殖などユニークな事業展開を行っています。

一方当社は、「自然と地域社会との共生」を経営の重点目標に掲げ、環境と安全に配慮しつつ地域経済の発展に寄与するとともに、地域から愛される企業を目指し、近隣地区の7団体とは各地区の年間行事(お祭り・運動会・敬老会・忘年会など)に協力・参加し、地域の発展と活性化に努めており、漁協5団体とは共存共栄の基本理念を踏まえ定期情報交換会などを通じ、良好な協調関係にあります。また工場にあっては、行政が推進する「道路里親制度」に登録し周辺道路の清掃活動を定期的実施するなど種々の取り組みを進めています。

今後も、コスモ石油グループの一員として環境先進企業を目指すとともに、企業の社会的責任(CSR)経営をより強化すべく取り組む所存です。



コスモ松山石油社長  
吉田 昌史

## ■地域コミュニケーション活動

- 近隣企業(10社)との情報交換会開催
- 漁協との情報交換会開催
- 花見(4月)、地域盆踊り大会(8月)
- 今治城周辺クリーンキャンペーン(10月)
- 愛媛ふれあいの道活動(会社前県道清掃年4回) ほか



2003年度製油所見学者数	2件 87人
無災害記録(延時間)(2003年12月現在)	6,553千時間
PCB保管状況	保管していない

## ■環境関連資格保有者数

公害防止管理者(大気)	12名
公害防止管理者(水質)	13名
公害防止管理者(騒音)	1名
公害防止管理者(振動)	1名
危険物取扱者(甲・乙種)	115名
高圧ガス製造保安責任者(甲・乙種)	94名
エネルギー管理士(熱)	8名
エネルギー管理士(電気)	2名
産業廃棄物施設技術管理者	3名
ボイラー特級	2名
ボイラー1、2級	92名

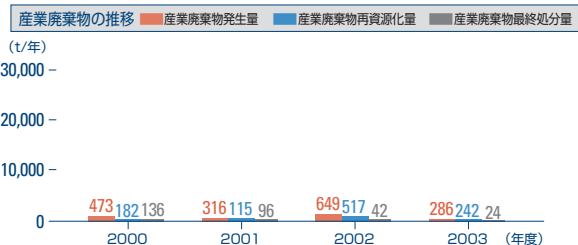
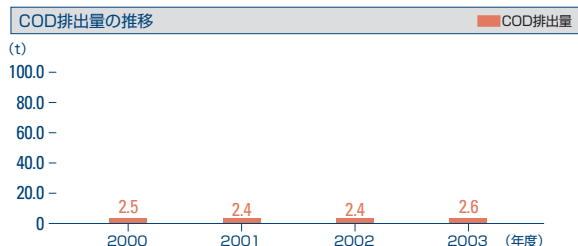
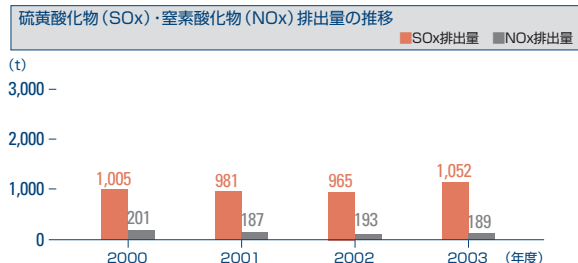
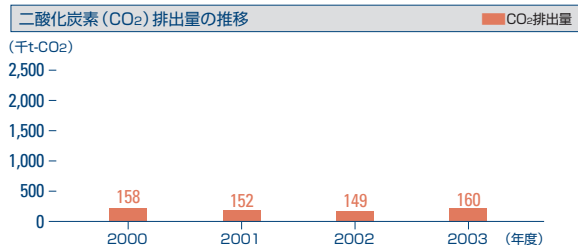
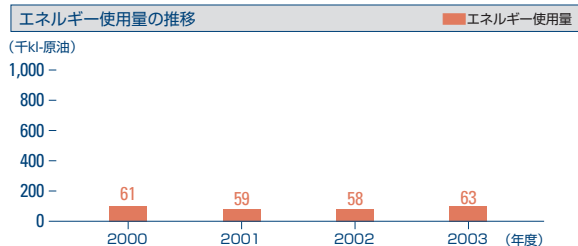
法規制物質

大 気	物 質	規制値	2003年度実績	
			最大	平均
	NOx (m³N/時)	—	16.20	12.60
	SOx (m³N/時) (総量規制)	208	66.81	50.17
	ばいじん (ボイラー) (g/m³N)	0.17	0.04	0.04

水 質	物 質	規制値	2003年度実績	
			最大	平均
	COD (kg/日) (総量規制)	363.3	25.1	7.1
	COD (mg/L)	15 (10)	6.0	2.6
	SS (mg/L)	20	7	3
	油分 (mg/L)	2	定量下限未滿	
	窒素 (mg/L)	120 (60)	0.99	0.60
	リン (mg/L)	16 (8)	0.18	0.12
	フェノール類 (mg/L)	0.3	定量下限未滿	

( )内は日間平均値

環境パフォーマンス (エネルギーなど)



環境パフォーマンス (PRTR)

PRTR対象物質	単位	排出量				移動量
		大 気	水 域	土 壌	合 計	
エチルベンゼン	kg/年	2,300	0.5	0	2,301	0
キシレン	kg/年	11,000	3.0	0	11,003	0.1
1,3,5-トリメチルベンゼン	kg/年	290	22	0	312	0.3
トルエン	kg/年	20,000	13	0	20,013	0
ベンゼン	kg/年	4,700	0	0	4,700	0
エチレンジクロール	kg/年	75	0	0	75	0
1,2-ジクロロエタン	kg/年	5,300	0	0	5,300	0
フェノール	kg/年	68	0	0	68	0

環境会計

環境保全コスト (百万円)

項 目	2003年度	
	投資額	費用額
1事業エリア内コスト	0	81
公害防止コスト	0	0
地球環境保全コスト	0	0
資源循環コスト	0	2
2上・下流コスト	0	0
グリーン購入によるコスト	0	0
製品の環境負荷低減コスト	3	506
製品の低硫黄化	0	0
ガソリンの有害物質代替	3	394
石油化学製品の芳香族分低減化	0	112
3管理活動コスト	0	39
4研究開発コスト	0	0
5社会活動コスト	0	0
合計	3	628

再生紙の購入費 0 (百万円)

経済効果 (百万円) 0百万円

環境保全効果

項 目	2003年度	
	環境負荷削減 (前年度一当年度)	
①事業エリア内の効果		
事業活動に投入する資源に関する効果		
エネルギーの投入		▲184 (TJ)
水の投入		▲53 (千t)
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する効果		
大気への排出		
CO <sub>2</sub>		▲12 (千t-CO <sub>2</sub> )
SOx		▲87 (t)
NOx		4 (t)
ベンゼン		▲0.10 (t)
水域への排出		
COD		▲0.20 (t)
廃棄物の排出		
産業廃棄物発生量		363 (t)
産業廃棄物再資源化量		275 (t)
産業廃棄物最終処分量		18 (t)
②上・下流の効果		
製品の環境負荷低減効果		
製品の低硫黄化		(潜在SOx量:t)
ハイオクガソリン		0
レギュラーガソリン		0
ナフサ		4
ジェット燃料		13
灯油		0
軽油		▲1
A重油		22
C重油		▲228
LPG		0
合計		▲190
ガソリンの低ベンゼン化		42 (t)
石油化学製品の芳香族分低減		▲390 (kl)
製品使用時のCO <sub>2</sub> 排出量		▲64 (千t-CO <sub>2</sub> )